

使用料及び減免・還付等一覧表

別表 4

◎施設基本使用料

区分			使用料の額（円）			
			午前	午後	1 日	夜間
末広屋外水泳プール	個人利用	高校生以下	1 回につき 100			
		一般	1 回につき 200			
	専用利用	高校生以下	1,600	2,600	3,700	
		一般	3,100	5,200	7,300	
石川県立小松屋内水泳プール	個人利用	高校生以下	1 回につき 200			
			回数券（12回分） 2,100			
		一般	1 回につき 300			
			回数券（12回分） 3,100			
	専用利用	幼児プール	1 時間につき 3,100			
		高校生以下	1 時間につき 4,200			
		一般	1 時間につき 5,800			
	会議室		300	500	700	700

備考

- この表において「1 回」とは、2 時間とする。
- この表において使用料の額の単位を 1 時間とするものについて、使用時間が 1 時間に満たない場合は 1 時間とし、当該使用時間が 1 時間を超える場合において、1 時間未満の端数があるときは、当該端数時間は 1 時間に切り上げる。
- 本市に住所を有しない者が使用する場合の使用料の額は、それぞれこの表に定める使用料の額の 50 パーセントに相当する額を加算した額とする。ただし、個人使用の場合は除く。
- 使用者が入場料等を徴収する場合、その額が 1,000 円を超えるものについての使用料の額は、当該基本使用料の額に次の定める割合を乗じて得た額を加算する。
 - 入場料等 1,000 円を超え 2,000 円までを徴収するもの 5 割
 - 入場料等 2,000 円を超えて徴収するもの 10 割
- 7 月 1 日から 8 月 31 日までの間は、石川県立小松屋内水泳プール個人使用料を次の表のとおりとする。

区分			使用料の額（円）	
石川県立小松屋内水泳プール	個人利用	高校生以下	1 回につき	100
			回数券（12回分）	1,000
		一般	1 回につき	200
			回数券（12回分）	2,100

◎使用料の減免及び還付

- 1 使用料の減免については、次の各号に該当する場合において適用する。算出した使用料の額に、10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(1) 専用使用のとき（附属設備及び附属体育器具等使用料は含まない。）

区分	減免率
市又は市立学校が体育及びスポーツの振興を図る目的で直接使用するとき。（附属設備及び附属体育器具等使用料を含む。）	100%
市、市内の学校、幼稚園、保育所又は学校教育関係が直接使用するとき。	50%
市スポーツ協会又は市内の社会教育団体が使用するとき。	30%
市が共催するとき。	30%
市が後援するとき。	20%
準備又はリハーサルに使用するとき。	40%

※減免の適用が2つ以上の区分に該当する場合は、割引率の高い方1つを適用する。

(2) 個人使用の場合で定期券を利用するとき（附属体育器具等使用料を含む）

区分	基本使用料又は割引率
個人が1ヶ月の定期で使用するとき。	1ヶ月定期券 高校生以下 300円 一 般 1,000円
個人が3ヶ月の定期で使用するとき。	1ヶ月定期券の額に3を乗じた額の20%
個人が6ヶ月の定期で使用するとき。	1ヶ月定期券の額に6を乗じた額の30%
個人が1年の定期で使用するとき。	1ヶ月定期券の額に12を乗じた額の40%

(3) 心身障害者及び精神障害者が、所持する障害者手帳等を提示して利用するときは、施設使用料の3分の2を減免する。

- 2 使用料を還付する場合及びその割合については、次表のとおりとする。

区分	還付率
①施設の管理の都合により施設を使用させることができなくなった場合	100%
②風水害、火災その他の災害により施設を使用することができなくなった場合	100%
③使用日の2ヶ月前までに取消しを届け出た場合	90%
④使用日の1ヶ月前までに取消しを届け出た場合	80%
⑤使用日の1週間前までに取消しを届け出た場合	50%
⑥雨天の予備会場として申請し、当日使用の必要がなく使用しなかった場合	50%

※③、④の規定は、使用の承認を受けた使用日時及び施設について変更する場合にも準用する。